

日 に あ ら た に



札幌市立日章中学校
学校便り 第 513 号
令和 8 年 8 月 26 日発行
TEL831-6196 FAX831-2754
<https://www.nissho-j.sapporo-c.ed.jp>

2 学期始業式 学校長より

校長 北 伸章

『 心のキャッチボール 』

約 1 か月の夏休みが終わりました。夏休みが始まってすぐ、7 月 28 日に発生した最大震度 7 の熊本地震では多くの方々が被災し、現在も厳しい暑さの中、避難所での生活や車中泊を続けている方がいらっしゃいます。県内にある多くの学校の校舎も被害を受け、学校再開のめどが立たず、数キロ離れた別の学校までスクールバスで通うことになった子ども達もいるそうです。また、千葉県で 8 月 13 日に発生した豪雨では、住宅の浸水被害がかなりの数に上り、自宅においてあったランドセルやカバン、学習道具などが水につかって使い物にならなくなっているという話も耳にしました。このような自然災害を目の当たりにし、不安な気持ちで学校の再開を待っている子ども達のことを考えるととても心が痛みます。

そのような中、全校生徒の皆さんとまた、こうしていつも通り元気な姿で 2 学期を迎えることができたことに感謝し、大変うれしく思います。この 1 か月間、皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？ 1 学期の終業式に夏休みに大切にしてほしいテーマということで「シンカ（深化、伸化、新化）」の話をしました。新たなことに挑戦したり（新化）、興味関心のあることを深めたり（深化）、得意なことや好きなことを伸ばしたり（伸化）することはできたでしょうか？これから始まる 2 学期の中で、その真価（シンカ）が発揮されると信じています。

さて、夏休み中、甲子園では第 108 回全国高等学校野球選手権大会（高校野球）が行われ、熱戦が繰り広げられました。校長先生も北海道から出場した「白樺学園」と「札幌日大高校」をテレビの前で一生懸命応援しました。どの試合においても、試合後の選手達には笑顔や涙があふれており、その裏側にある努力を思うと、選手達の結果に対するうれしさや悔しさは計り知れないものがあると思いました。甲子園という全国大会に出場する選手達の並々ならぬ努力の原動力は一体何なのでしょう？試合後の選手の談話の中で、よく「恩返し」とか「感謝」という謙虚な言葉を耳にします。仲間や後輩、先生方、家族など周囲から支えられていることへの「感謝」の気持ちは、人を動かし、成長させる原動力になるということがわかります。

皆さんには、周囲の思いをしっかりとキャッチできる人になってほしいと思います。また逆に、人への何気ない心遣いができる人になってほしいと思います。「情けは人の為ならず」ということわざがあります。「人に対するよい行いは、いずれは巡って自分に返ってくる」という意味のことわざですが、人への優しい声かけや心遣いはたくさんの人を動かす原動力になり、やがて自分に返ってきます。逆に、意地悪な言葉を発し、自己中心的な態度や行動をとってばかりいれば、いずれ誰からも相手にされなくなります。2 学期は、日常生活や行事など、人とかかわりあう時間がたくさんあります。自分の周りに困っている人がいるとき、悩んでいる人がいるときには、その人に寄り添い、声をかけてほしいと思います。また、逆に周囲の人の思いをしっかりと受け止めながら前に進み、成長することも大切です。一人一人が「心のキャッチボール」を丁寧に行っていきましょう。

◇ 代表生徒より 2 学期に向けて

『 夏休み振り返ってこれからへ 』

生徒会代表生徒

みなさんはこの夏休みを有意義に過ごせたでしょうか。私は友達と遊んだり、花火を見たり、部活動に取り組んだりと楽しく充実した夏休みを過ごすことができました。執行部としてはさっぽろっ子サミットに参加してきました。当日は札幌市内 500 人以上の中学校が集まり、プラスの魔法を実現するために私たちにはなにができるのか、グループごとに話し合いを行いました。さまざまな学校から集まった人たちが楽しそうに意見交流していて会場は明るく活気ある雰囲気でした。その話し合いの中で、私はただ意見を出すだけでなく、それがどんなことに繋がるか、を考えて発言しました。意見とその根拠を伝えることは自分の考えを周りの人に理解してもらい、話し合いをより良い方向に進められることを改めて実感しました。

2 学期には学校祭や合唱コンクールなどがあります。そこではクラスのみinnと一つの目標に向かって取り組むことになります。だからこそ一人ひとりが目指すものを意識し、その実現のために何をするべきなのかを考えて行動してみてほしいです。

『 2 学期 の 目 標 』

1 年生生徒代表

中学校に入って初めての夏休みは、部活と勉強の両方に力を入れて取り組みました。部活動では暑い中での練習を一生懸命頑張り、勉強では計画的に 1 学期の復習に集中して取り組みました。

2 学期は、学校祭や合唱コンクールといった大きな行事がたくさんあり、準備や練習で忙しく、大変なこともあると思います。だからこそ、時間を守って行動し、休み時間から授業への切り替えを早くすることを意識したいです。また、行事の準備や練習では、クラスのみinnと協力し合って、大変なことも乗り越えていきたいです。忙しい時期でも部活動に手を抜かず、疲れていても日々の予習や復習をきちんと続けたいです。時間を上手に使い、勉強と部活をしっかりと両立させて、何事にも最後まで努力し、充実した 2 学期にしたいです。

『 夏休みの振り返りと二学期の目標 』

2 年生生徒代表

私はこの夏休みを充実させ、自分自身を成長させることができました。学習面では成績を上げるために 1 年生の時よりも定期テストの勉強を頑張りました。特にわからなかったところや間違えたところができるようになるまで繰り返し解くことができました。一方で、定期テストの勉強を優先しすぎてしまい、夏休みの課題を後回しにしてしまった部分もありました。しかし、勉強だけでなく、部活の面では 2 年生として 1 年生をまとめたり、チームだけでなく自分自身も技術や人間性を成長させることができました。

この夏休みを通して、二学期での目標を設定しました。学習面では勉強時間を増やすのと同時に、課題を早めに終わらせることを目標としていきたいです。部活の面ではチームのみinnなどの信頼性をもっと高めてチームを強くしたり、部長としての責任をしっかりと担うことを意識して、一学期の自分よりも、二年生という自覚を持って生活していきたいと思っています。

『 夏休みを終えて 』

3 年生徒代表

私はこの夏休み、受験生として勉強にただ時間をかけるのではなく、集中力を高め、学習の密度を高めることに力を入れました。夏休み前半はピアノの発表会に向けて毎日 5 時間程度の練習時間をとっていたため、勉強時間を十分に確保できなかったからです。そこで、限られた時間を有効に使うため、まずその勉強に関係のないスマホや他教科のワークなどを机に置かないようにしました。アメリカの研究では、関係のないものが机にあると脳のパフォーマンスが 40% も低下するとされているため、目の前の勉強だけに集中できる環境をつくりました。また、ポモドーロ・テクニックを活用し、25 分間に全力で集中するということも意識しました。さらに、就寝時間を 22 時、起床時間を 5 時と決め、生活習慣を崩さず安定させました。二学期は、まず定期テストに全力で取り組み、結果を出したいです。そして、テスト後は気持ちを切り替え、合唱コンクールや学校祭にも全力で取り組み、受験勉強との両立をしながら、悔いの残らない二学期にしていきたいです。

◇ 教育実習生の先生方より自己紹介

教科:数学

みなさんこんにちは！大学では主に数学を勉強しており、部活動はバスケットボール部に所属しています。運動も好き、音楽も好き、勉強も好き(?)と多趣味なので、たくさんお話ししましょう。ろう下で会ったらぜひ話しかけてください。みなさんと一緒に勉強も休み時間も全力で楽しみたいと思っていますので、4 週間という短い期間ですが、よろしくお願いします！

教科:音楽

はじめまして。これから4週間教育実習生としてお世話になります。担当教科は音楽です。歌うことが好きで、大学では主に声楽を学んでいます。短い期間ではありますが、生徒のみなさんとたくさん関われたら嬉しいです。歌のことで困ったときは何でも聞いてください！どうぞよろしくお願いいたします。

教科:保健体育

はじめまして！本日から保健体育の実習生としてお世話になります。みなさんと笑顔あふれる楽しい時間を過ごし、心も体も一回り大きく成長できるよう全力で頑張ります！どうぞよろしくお願いします！

教科:技術

はじめまして！今回、技術科の授業を担当させていただきます。大学ではバスケ部に所属していて、体を動かすことが大好きです。何事も前向きに楽しむタイプなので、4 週間という短い期間ですが、皆さんと沢山お話をしたり、一緒に学んだり出来ることを楽しみにしています！見かけたら気軽に話しかけてくれると嬉しいです。よろしくお願いします！

合唱部 NHK 全国学校音楽コンクールに出場



道央区大会 中学校の部 I 銅賞

バドミントン部男子 中体連全道大会に出場

団体 ベスト 8 [準々決勝進出] 個人 初戦敗退

7 月 29 (水) ~ 31 日 (金) 北ガスアリーナ



* 地区大会会場にて



『さっぽろっ子サミット』8/18

夏休み最後の週、コンベンションセンターにて開催された『さっぽろっ子サミット』に、子ども運営委員会メンバーである執行部の生徒たちが参加してきました。全体司会も務め、「私たちの地域をもっと好きになる」をテーマに、他校の生徒たちと活発な意見交流を行ってきました。

